

## 日本気象学会第21期役員選挙告示

現在の役員は、昭和55年5月で2年の任期が満了となりますので、定款に従い、次の要領で次期役員選挙を行ないます。

### 1. 選出する役員

理事 27名

監事 2名

### 2. 立候補および候補者推薦の届出

#### イ. 候補者の資格

昭和55年4月1日現在の通常会員

#### ロ. 届出方法

立候補する者および候補者を推薦する者は、次の書類を付し、選挙管理委員会に届ける（郵送でもよい）。

i) 候補者氏名、生年月日、所属機関、卒業学校名と卒業年次、種類別（理事、監事の別）。

ii) 候補者を推薦する場合は候補者の承諾書。

iii) 候補者の所信、とくに、気象学会が当面していると思われる重要問題について具体的な考え方を400字以内にまとめたもの。

#### ハ. 届出締切

昭和55年4月24日までに選挙管理委員会に必着のこと。

#### ニ. 宛名

東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁 観測部統計課気付 日本気象学会選挙管理委員会

#### ホ. 候補者の資格審査

選挙管理委員会は、前項に従って届出された立候補者および推薦候補者の資格審査を、昭和55年4月25日に行ない、公示する。

#### ヘ. 候補者名簿は受付順とする。

### 3. 投票

#### イ. 有権者資格

昭和55年4月1日現在の通常会員

#### ロ. 候補者名簿および投票用紙

昭和55年5月下旬にこれらを送付しますから、6月15日までに到着しないときには、直ちに選挙管理委員会に申し出てください。

#### ハ. 投票期日

昭和55年7月3日までに選挙管理委員会に必着のこと。

#### ニ. 投票方法

理事、監事別に連記無記名文書投票（方法の詳細は投票用紙と共に送ります）。

### 4. 開票および結果の告示

#### イ. 開票期日

開票は昭和55年7月4日気象庁内で行ないません。

会員はこの開票に立ち合うことができます。

#### ロ. 開票結果の告示

開票結果は、当日発表し、かつ、「天気」7月号に公示します。

昭和55年1月1日

日本気象学会選挙管理委員会

東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁観測部統計課内 (Tel. 03-212-8341 内線360)

(委員長) 鯨井孝一

(委員) 田崎允一、山本昇、藤原伊佐美、金田三郎、吉崎正憲、山内豊太郎

### 付記

#### 定款第14条（抜粋）

理事および監事は、次に定めるところに従い、通常会員のうちから通常会員の無記名投票によって選挙する。

1. 理事は、細則に定める地区毎の定数を全国の通常会員が選挙する。

2. 監事は通常会員の互選で定める。

#### 細則第7条

1. 各地区の理事の定数は、各地区の会員数に応じ、次のとおりとする。ただし、関東地区については、この法人の事務の円滑な運営をはかるための定数を次のとおり加算する。

北海道地区（北海道）……………2名

東北地区（宮城県、岩手県、青森県、秋田県、

山形県、福島県）……………2名

関東地区（東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、

埼玉県、群馬県、栃木県、新潟県、山

梨県）……………8名 加算分5名

中部地区（富山県、石川県、福井県、長野県、

静岡県、愛知県、岐阜県、三重県）

……………2名

関西地区（大阪府、京都府、滋賀県、和歌山県、

1980年1月

- 奈良県, 兵庫県, 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 香川県, 愛媛県, 徳島県, 高知県) ..... 4名
- 九州地区(山口県, 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 大分県, 熊本県, 宮崎県, 鹿児島県) ..... 3名
- 沖縄地区(沖縄県) ..... 1名
- 2. 監事は, 通常会員の中から2名互選される。
- 3. 通常会員は, 理事および監事に立候補することができる。

- できる。
- 4. 他の通常会員によって書面により理事および監事に推薦され, かつそれを承認した通常会員は, 推薦候補となることのできる。
- 5. 理事および監事は, 立候補者および推薦者以外の通常会員からも選挙される。
- 6. 理事および監事の選挙は, それぞれ種類別に連記する無記名文書投票とする。

昭和55年度朝日学術奨励金推薦・応募要領

- 1. 本奨励金の贈呈対象は, 個人, グループ, 団体を問いません。独創的な研究で研究費に恵まれない研究者の応募を期待します。いくつかの学問領域にまたがる, いわゆる「学際研究」も歓迎します。
- 2. 対象となる研究は, 継続中のものでも, これから始めるものでも結構です。また同じ研究に対して継続して贈呈する場合があります。
- 3. 応募は原則として学界の関係者からの推薦が望まれています。「昭和55年度朝日学術奨励金候補推薦・応募用紙」は,

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4  
 気象庁予報部電計室 新田 尚  
 Tel (03) 212-8341 内 449

- まで御請求下さい。
- 4. 奨励金の希望金額には, 特に制限はありません(なお, 昨年度の贈呈金額は6研究に対して合計1050万円でした)。
- 5. 朝日新聞社内に設けられた選定委員会が, 候補研究につき学界各方面の意見をきき, 選定します。
- 6. 締切りは2月29日(朝日新聞社到着)です。

月例会「長期予報と大気大循環」のプログラム

日時 昭和55年2月23日(土)9:30~12:00

会場 気象庁第1会議室

発表題目

- 1. 長期予報数値モデルについて  
福谷 博・田中康夫(気象庁長期予報課)
- 2. 月平均の気温予報値の特徴について  
荒井 康(気象庁長期予報課)
- 3. マクロ気象学と長期予報—モスクワ・オリンピック

天候予測—

和田英夫(北海道教育大学)

- 4. 500 mb 面気圧場に及ぼす火山噴火と太陽活動の影響  
須田滝雄(岐阜大学)
- 5. 天気変化にみられる約30日の周期性について  
関根勇八(気象庁長期予報課)  
平沢健造(気象協会中央本部)

正誤表(つぎの通り誤植がありましたのでお詫びして訂正させていただきます)

巻 号	ペ ー ジ	行	誤	正
26. 12	744	4	B 5 版	A 5 版